

1/25  
赤旗

## 堺市、国保料引き下げ

### 7年連続合計1万5千円以上

堺市国民健康保険運営協議会は22日、来年度の国保料を加入者1人当たり平均21,388円引き下げることを答申しました。

堺市では、所得20万円以下の世帯の半数以上で保険料の滞納があり、国保料の負担軽減を求める多くの市長が引き下げを諮問していました。竹山修身市長が引き下げを諮問してきました。答申通り実施されれば、7年連続の引き下げで、合

計1万5千円~5円の値下げとなります。

堺市では、所得20万円以上の世帯の積み上がった基金を活用すれば、年間1人1万円以上の引き下げが可能だと示し、「さらなる保険料の引き下げを行なうべきだ」と求め

た。

日本共産党議員団

は、市の国保事業は黒字であり、約35億円に

積み上がった基金を活用すれば、年間1人1万円以上の引き下げが可能だと示し、「さらなる保険料の引き下げを行なうべきだ」と求めた。

同日の国保運営協議会では、市の担当者も「黒字が基金となつていいので、それは被保険者にお返しする」との認識を示しました。

堺市では、所得20万円以下の世帯の積み上がり基金を活用すれば、年間1人1万円以上の引き下げが可能だと示し、「さらなる保険料の引き下げを行なうべきだ」と求めた。

同日の国保運営協議会では、市の担当者も「黒字が基金となつていいので、それは被保険者にお返しする」との認識を示しました。

「基金の活用など、国保料をさらに引き下げることができる条件はあります。約35億円の基金は被保険者の負担軽減のために活用すべきで、引き続き負担軽減を求めていきます」と話しました。

堺市議団長は